

<報道関係者各位>

すみだ北斎美術館
北斎没後 170 年記念

茂木本家美術館の北斎名品展 開催
会期：2019年9月10日(火)～11月4日(月・振替休日)



世界的に名高い浮世絵師・葛飾北斎は、嘉永2年(1849)4月18日に、浅草聖天町遍照院境内の住まいにてこの世を去りました。2019年は北斎没後170年にあたります。この節目に、すみだ北斎美術館では、9月10日(火)から11月4日(月・振替休日)まで「茂木本家美術館の北斎名品展」を開催致します。

目次			
■ 展示構成	P.02	■ 開催概要	P.07
■ 関連イベントのお知らせ	P.07	■ 広報用画像請求紙	P.08
■ 今後の企画展のお知らせ	P.09		

北斎名作の数々を一挙公開

茂木本家美術館は、キッコーマン創業家の一つである茂木本家十二代当主茂木七左衛門氏*1(1907-2012)が収集した美術品を展示する館として、2006年に千葉県野田市に開館しました。本展では、浮世絵や近現代作家の作品など多岐にわたる所蔵品の中から、北斎作品は、北斎の代表的なシリーズとして知られる「富嶽三十六景」「諸国名橋奇覧」「諸国瀧廻り」のほか、「詩歌写真鏡」シリーズや、「木曾路名所一覽」、『北斎漫画』全冊、『富嶽百景』など、さまざまな錦絵・摺物・版本に加え、門人たちの国内ではあまり確認されていない稀少な作品、^{やぶうちさとし} 藪内佐斗司氏による1点ものの北斎の彫刻など、前後期あわせて116点の北斎関連作品を展覧します。同館の北斎関連作品を一挙に公開する展示は、今回が初の機会となります。この機会にぜひお越しください。

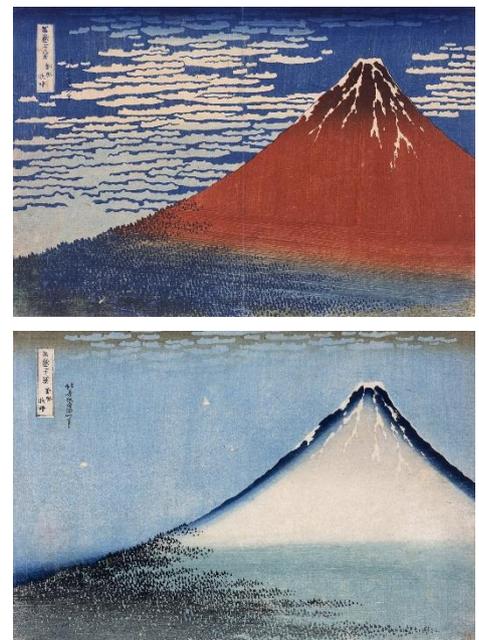
*1 茂木七左衛門の「衛」は「衛」の旧字体をご使用ください。

前期必見！

「富嶽三十六景 凱風快晴」「赤富士」と「青富士」の競演

茂木本家美術館は「凱風快晴」の藍摺版も所蔵しています。通称「青富士」と呼ばれるこの版は、現存する数が少ない珍しいものです。本展では通称「赤富士」と呼ばれる「富嶽三十六景 凱風快晴」と「青富士」を並べて展示します。別摺がつくられるほどに人気を博した「富嶽三十六景 凱風快晴」の魅力をご堪能ください。

右上：葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」(前期)
右下：「富嶽三十六景 凱風快晴(藍摺版)」(前期) すべて茂木本家美術館蔵



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



展示構成

- 1章 富士を旅する—富嶽三十六景—
- 2章 瀧をめぐる—諸国瀧廻り—
- 3章 奇しき橋をのぞむ—諸国名橋奇覧—
- 4章 北斎さまざま
- 5章 門人へのまなざし

1章 富士を旅する—富嶽三十六景—

幾何学的な構図で魅せる多様な富士と、描き込まれた江戸や旅の風俗

北斎が70歳代で発表した「富嶽三十六景」シリーズは、季節、時間、天候、場所など様々な要因の違いで見え方の異なる富士を、構図の奇抜さなどを交えながら、それまで培ってきた描き方で描写した46図のシリーズです。本章では、「Ⅰ 斬新な構図・工夫された構図」、「Ⅱ 厳かな自然と時」、「Ⅲ 江戸のシンボル・旅情の演出」という切り口から「富嶽三十六景」の魅力をご紹介します。

▶「凱風快晴」「神奈川沖浪裏」「山下白雨」の3作品は「三役」と呼ばれ、世界的に人気です！

後期も必見！



上:「富嶽三十六景」より上:「神奈川沖浪裏」(後期)、左:「山下白雨」(後期)、右:「甲州石班沢」(後期) すべて茂木本家美術館蔵

主な出品作品

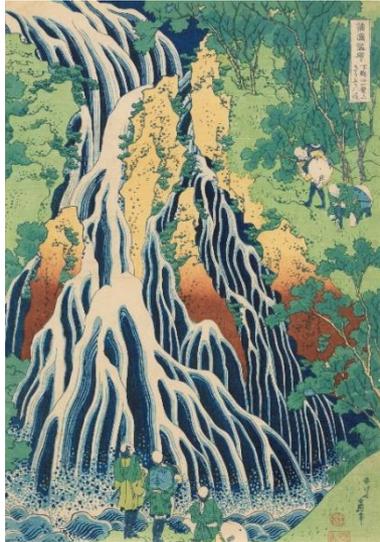
「富嶽三十六景」より「江戸日本橋」(前期)、「江戸駿河町三井見世略図」(後期)、「甲州石班沢」(後期)、「甲州三坂水面」(前期)、「凱風快晴」(前期)、「凱風快晴(藍摺版)」(前期)、「神奈川沖浪裏」(後期)、「山下白雨」(後期)、「相州梅沢左」(後期) ほか すべて茂木本家美術館蔵

2章 瀧をめぐる—諸国瀧廻り—

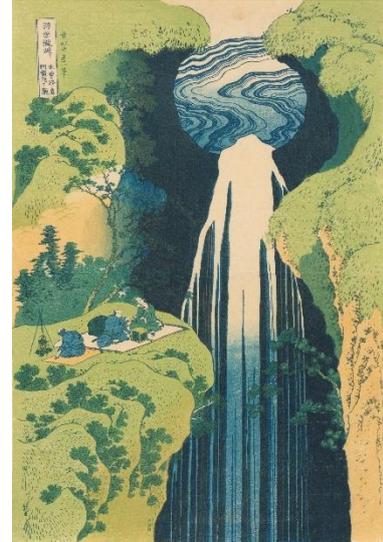
北斎のダイナミックな筆力で描き出された、8種8様の滝の表情

日本各地のさまざまな滝を描いたシリーズ「諸国瀧廻り」は、「富嶽三十六景」の後に出版され、

同じく1つの主題を多様なパターンで描き分ける意図があったと考えられています。滝とひと口に言っても、「所変われば品変わる」という言葉のように、豪快に流れ落ちる大瀑布から岩肌を伝わる石清水のような滝まで、周りの岩の構造や水量によって表情が変わります。



「諸国瀧廻り」より
左:「下野黒髪山きりふりの滝」(前期)
右:「木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧」(後期)
すべて茂木本家美術館蔵



主な出品作品

「諸国瀧廻り」全8点:「下野黒髪山きりふりの滝」(前期)、「東都葵ヶ岡の滝」(前期)、「相州大山ろうべんの瀧」(後期)、「木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧」(後期)、「木曾海道小野ノ瀑布」(前期)、「和州吉野義経馬洗滝」(後期)ほか すべて茂木本家美術館蔵

3章 奇しき橋をのぞむ—諸国名橋奇覧—

北斎がインスピレーションを受けた珍しい橋の眺め

シリーズのタイトル「諸国名橋奇覧」は、日本各地のさまざまな構造の橋をめぐる珍しい眺めという意味になります。本シリーズは、「富嶽三十六景」の後に出版され、同じく1つの主題をさまざまに描き分ける意図があったと考えられており、全11図が確認されています。名橋と銘打ちながら、立地がわからない橋や、北斎がいた当時は失われてしまった橋なども含まれています。



「諸国名橋奇覧」より
左:「摂州阿治川口天保山」(後期)、中央:「足利行道山くものかけはし」(後期)、右:「摂州天満橋」(前期) すべて茂木本家美術館蔵

主な出品作品

「諸国名橋奇覧」より「足利行道山くものかけはし」(後期)、「かうつけ佐野ふなはしの古づ」(前期)、「ゑちぜんふくみの橋」(前期)、「摂州阿治川口天保山」(後期)、「摂州天満橋」(前期) ほか すべて茂木本家美術館蔵

4章 北斎さまざま

茂木本家美術館の多岐にわたる北斎関連コレクション

茂木本家美術館は、これまでにご紹介した北斎の代表的なシリーズのほか、長大判という縦長の構図が見応えのある「詩歌写真鏡」シリーズや、江戸から京都に至る木曾街道を1図にまとめた「木曾路名所一覧」、北斎の代名詞ともなっている『北斎漫画』全冊、108図にのぼる富士の絵をまとめた『富嶽百景』など、さまざまな錦絵・摺物・版本、そして彫刻家のやぶうちきとし藪内佐斗司氏による北斎像も所蔵しています。幅広い同館の北斎およびその関連の作品をご覧ください。



左: 葛飾北斎「詩歌写真鏡 春道のつらき」(前期)、
中央: 葛飾北斎「東海道五十三次 絵本駅路鈴 日本橋」(後期)、
右: 藪内佐斗司「画狂老人祀(北斎)」(通期) すべて茂木本家美術館蔵

主な出品作品

「詩歌写真鏡 春道のつらき」(前期)、「江都両国橋夕涼花火之図」(前期)、「木曾路名所一覧」(後期)、「東海道五十三次 絵本駅路鈴 日本橋」(後期)、『北斎漫画』初編～十五編(全15冊)、『富嶽百景』(全3冊)、藪内佐斗司「画狂老人祀(北斎)」(通期) ほか すべて茂木本家美術館蔵

5章 門人へのまなざし

北溪、北寿、辰斎など北斎門人の珍しい作品も展示！

北斎がビックネームなだけに、門人たちはその陰に隠れがちですが、茂木本家美術館は、代表的な門人の魚屋北溪、洋風風景画を得意とした昇亭北寿や柳々居辰斎といった門人たちによる珍しい錦絵や摺物を所蔵しており、その充実した内容は注目すべきものがあります。本章で紹介する作品の数々から、門人たちに注がれた同館のまなざしも感じていただけることでしょう。



左: 柳々居辰斎「六郷渡」(前期)、右: 魚屋北溪「諸国名所 駿州大宮口登山」(後期) すべて茂木本家美術館蔵

主な出品作品

昇亭北寿「勢州 二見ヶ浦」(作品を替えて通期で展示)、柳々居辰斎「六郷渡」(前期)、「重箱と五月飾」(前期)、魚屋北溪「諸国名所 駿州大宮口登山」(後期)、「蘭陵王」(前期)、「坂田金時と鬼」(前期)、「鶴亀松竹之内 松 天の羽衣」(後期)ほか すべて茂木本家美術館蔵

関連パネル展示：茂木本家美術館の建築

同館の魅力はそのコレクションだけではなく。彦坂裕氏、上山良子氏による建築設計、ランドスケープデザインは、周辺地域と融合しながらも洗練されたデザインです。

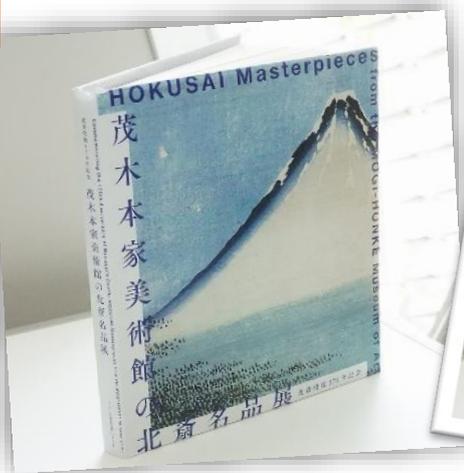
3F ホワイエにて、同館の初期の建築イメージ(素描)やランドスケープ検討図、エスキス、図面などを紹介するパネル展示を行います。茂木本家美術館の北斎関連コレクションに加え、建築についての側面からも、同館の魅力をご紹介します。



茂木本家美術館外観

本展オリジナル図録を販売いたします！

表



裏



本展のオリジナル図録を、持ち運びに便利なハンディサイズでご用意しました！

茂木本家美術館所蔵の北斎名品の数々の図版や解説に加え、学芸による「青富士」に関する論考もお楽しみいただける充実の内容。同館所蔵の北斎作品を解説する書籍は、本図録が初となります。

『茂木本家美術館の北斎名品展』図録 2,300円(税込)

9月10日(火)より当館ミュージアムショップのみで販売いたします。

本展の観覧料が **20%OFF** になる 特別な割引サービスをご用意しました

※いずれも他割引との併用はできません。

★SPECIAL1【茂木さん割引】

本展にちなみ、お名前に「茂木」のつく方は、特別割引でご覧いただけます。お名前のわかる身分証明書をご提示ください。

※対象:お名前に「茂木」がつく方(ご本人様のみ)。

★SPECIAL2【むらさき割引】

茂木本家美術館は、キッコーマン創業家の1つである茂木本家十二代当主茂木七左衛門氏のコレクションを展示する美術館。キッコーマンといえばお醤油ですが、お醤油の別称として「むらさき」が使われていることから、今回特別に、“紫の品物”を身に着けて当館にお越しいただいた方は、特別割引でお楽しみいただけます。本展にはぜひ“紫コーデ”でお越しください！

※対象:受付にてチケットご購入時に、紫色のアイテムを身に着けている方(ご本人様のみ)。

★SPECIAL3【千葉県民割引】

茂木本家美術館は所在地が千葉県にあることから、千葉県民の方は、特別割引でご覧いただけます。受付にてチケットご購入時に、お住まいのわかる身分証明書をご提示ください。(ご本人様のみ)。

★SPECIAL4【建築を学んでいる学生割引】

「茂木本家美術館」はその建築も目を惹く美術館です。今回は特別に、建築を勉強されている方は、特別割引でご覧いただけます。受付にてチケットご購入時に、学生証をご提示ください。(ご本人様のみ)。

【リピーター割引】

本展の観覧券半券を受付でご提示いただくと、20%OFFでご覧いただけます。作品保護のため、また、より多くの作品をご紹介するため、前期と後期で作品の展示替えを行います。本展の前期・後期のみどころの作品をぜひ制覇してください。

【メルマガ割引】

メールマガジン本文の画面、もしくは印刷したものを受付にてチケットご購入時にご提示の方は、20%OFFでご覧いただけます。メルマガは毎月1日配信中！学芸員による企画展の見どころ解説や、図書室のオススメ本、ミュージアムショップの新アイテム、イベント予定など、旬な情報を集めた内容です。

【近隣施設半券割引】

◆すみだトリフォニーホール主催・共催の対象公演の半券提示

⇒すみだ北斎美術館の常設展または企画展について団体割引料金でご覧いただけます。

◆ぐるっとパス2019のご利用

⇒すみだ北斎美術館の常設展について無料、企画展について団体割引料金でご覧いただけます。

開催概要

北斎没後 170 年記念 茂木本家美術館の北斎名品展

◎会期 2019 年 9 月 10 日(火)～11 月 4 日(月・振替休日)

◎前期 9 月 10 日(火)～10 月 6 日(日)

◎後期 10 月 8 日(火)～11 月 4 日(月・振替休日)

※前後期で一部展示替えあり

◎休館日

9 月 17 日(火)、24 日(火)、30 日(月)、

10 月 7 日(月)、15 日(火)、21 日(月)、28 日(月)

◎開館時間 9:30～17:30(入館は 17:00 まで)

◎主催:墨田区・すみだ北斎美術館

◎企画協力:茂木本家美術館



◎観覧料 ※AURORA(常設展)観覧料含む

	一般	高校生 大学生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,200 円	900 円	900 円	400 円	400 円	無料
団体	960 円	720 円	720 円	320 円	320 円	無料

※団体は有料のお客様 20 名以上。※本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展)もご覧になれます。

◎企画展公式サイト: <https://hokusai-museum.jp/mogihonke>

◎前売券販売場所:すみだ北斎美術館受付(販売期間:8 月 10 日～9 月 8 日)

ローソンチケット(Lコード:31767) <http://l-tike.com> TEL:0570-084-003

カンフェティ <http://www.confetti-web.com/>

関連イベントのお知らせ

講演会「茂木本家美術館とそのコレクションについて」(仮)

講師:茂木潤一(茂木本家美術館館長)

日時:10 月 12 日(土)14:00～15:30(開場 13:30) 定員:60 名

場所:MARUGEN100(講座室)

参加料:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

スライドトーク

日時:9 月 14 日(土)、10 月 26 日(土) 14:00～14:30(開場 13:30)

講師:奥田敦子(当館学芸・教育普及担当)

会場:MARUGEN100(講座室) 定員:60 名

料金:無料(ただし観覧券または、年間パスポートが必要です)

ワークショップ「別摺ってなんだ？」

日時:10 月 5 日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)

定員:20 名(事前申込制)

場所:MARUGEN100(講座室)

参加料:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

※申込の詳細はHPをご確認ください。

広報用作品画像請求用紙

貸出を希望される画像の番号にチェックの上、ページ下部の広報担当までお申し込みください。

- 1.葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」(前期) 茂木本家美術館蔵
- 2.葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴(藍摺版)」(前期) 茂木本家美術館蔵
- 3.葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 4.葛飾北斎「富嶽三十六景 甲州石班沢」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 5.葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 6.葛飾北斎「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」(前期) 茂木本家美術館蔵
- 7.葛飾北斎「諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 8.葛飾北斎「諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 9.葛飾北斎「諸国名橋奇覧 摂州阿治川口天保山」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 10.葛飾北斎「諸国名橋奇覧 摂州天満橋」(前期) 茂木本家美術館蔵
- 11.葛飾北斎「詩歌写真鏡 春道のつらき」(前期) 茂木本家美術館蔵
- 12.葛飾北斎「東海道五十三次 絵本駅路鈴 日本橋」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 13.藪内佐斗司「画狂老人卍(北斎)」(通期)茂木本家美術館蔵
- 14.魚屋北溪「諸国名所 駿州大宮口登山」(後期) 茂木本家美術館蔵
- 15.柳々居辰斎「六郷渡」(前期) 茂木本家美術館蔵

※本展の作品は、すべて茂木本家美術館所蔵です。画像使用の際には、上記の作品クレジット(作家名・作品名・展示期間・所蔵先)が必須となります。

※展示作品は都合により変更することがあります。

※画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。

※画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。

※ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。

貴社名 /		
貴媒体名 /		
部署名 /	役職名	
ご芳名 /		
ご連絡先 /	TEL	FAX
	E-mail	
ご掲載/放送予定	月 日	



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

今後の企画展のお知らせ

北斎没後 170 年記念 北斎 視覚のマジック 小布施・北斎館の名品展

◎会期 2019年11月19日(火)～2020年1月19日(日)

◎前期 11月19日(火)～12月15日(日)

◎後期 12月17日(火)～1月19日(日)

※前後期で一部展示替えあり

◎休館日 毎週月曜日、年末年始 12/29(日)～1/1(水)

※開館:2020年1月13日(月祝) 休館:2020年1月14日(火)

◎開館時間 9:30～17:30(入館は 17:00 まで)

◎主催:墨田区・すみだ北斎美術館

◎協力:北斎館

◎企画展公式サイト: <https://hokusai-museum.jp/obuse/>



美術館情報



すみだ北斎美術館

THE SUMIDA HOKUSAI MUSEUM

開館時間 9:30-17:30(入館は 17:00 まで)

住所 〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2

電話 03-6658-8936(9:30-17:30、休館日を除く)

公式サイト <https://hokusai-museum.jp/>

公式 Twitter <https://twitter.com/HokusaiMuseum/>

公式 Facebook <https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>

2019 年度 すみだ北斎美術館企画展予告動画:

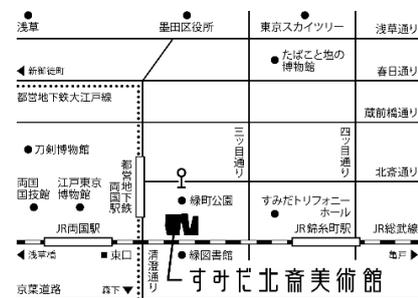
<https://www.youtube.com/watch?v=BZ29mFVKfBc>

アクセス

都営地下鉄大江戸線「両国駅」出口より徒歩 5 分

JR 総武線「両国駅」東口より徒歩 9 分

JR 総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで 5 分



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館